あなたの本棚

新しい本の中から

大津市立図書館

発行№３１６

8月

Pick Up！

『村井さんちのお取り寄せ』 村井理子/ワニブックス/914.6 ﾑﾗ

一日のほとんどをパソコンの前で過ごし、休むことなく原稿を書いている私にとって、お取り寄せは心のエクササイズ。松葉ガニ、とらやの羊羹、ジャズのレコード、ドッグフード…。大津市在住の翻訳家・エッセイストが綴る痛快お取り寄せエッセイ。
読み終えたあとには購買意欲が沸き上がり、元気になれる一冊です。

『AIはどのように賢くなってきたのか』
倉光君郎/岩波書店/007.1 ｸﾗ 青少年

古代のアルゴリズム(互除法)の発見からコンピュータの登場、プログラミング言語の発明と、深層学習を経て現代のAIに至るまで、AIの発展の歴史をわかりやすく紹介する。

『蔵書一代』
紀田順一郎/中央公論新社/024.9 ｷﾀ 文庫

やむをえない事情から３万冊超の蔵書を手放した著者。痛恨の蔵書処分を契機に、近代日本の出版史・読書文化を振り返りながら、「蔵書」の意義と可能性、その限界を探る。盟友・荒俣宏との古書や蔵書をめぐる対談も収録。

『「がんばれない」心で何が起きているか』
外山美樹/筑摩書房/140 ﾄﾔ

「もうがんばれない」は心の正常な反応。「あきらめられない」は思考の仕組みがそうさせる…。心理学の視点から、やる気が消える脳とエネルギーの仕組み、努力と自尊心の罠、やめる勇気と戦略などについて解説する。

『性格ってなんだろう?』
小塩真司/河出書房新社/141.9 ｵｼ 青少年

「良い性格」と「悪い性格」の境界線はどこにある? 親の性格をどれぐらい受け継ぐ? 性格で進路が決まる? 性格に関する悩みや疑問などを通して、性格とは何か、性格とどうつきあっていけばいいかを心理学的に考える。

『戦争が変えた世界史』
伊藤敏[監修]/朝日新聞出版/209 ｲﾄ

古代・カデシュの戦いから2026年のイラン戦争まで、人類の経験した主要な戦争を通じて、戦争が人類にどのような変革をもたらしたのか、オールカラーでビジュアルに解説する。

『インテリジェンス関ケ原』
本郷和人/文藝春秋/210.4 ﾎﾝ

わずか半日で決着がついた関ケ原の戦い。実は合戦以前に繰り広げられた外交戦、情報戦こそが天下を動かす上でより大きな意味を持っていた。天下分け目の戦いにおける「失敗の本質」を徹底考察する。

『沖縄を語りつぐ』
川平朝清/岩波書店/289.1 ｶﾋ

台湾に生まれ育ち、戦後の沖縄でラジオ・テレビの放送にたずさわった川平朝清。その半生と家族の歴史、沖縄への思いを息子ジョン・カビラがインタビューした貴重な記録に、それぞれの新たな談話を加え、孫へと語りつぐ。

『なぜ賃金は上がらないのか』
首藤若菜/講談社/366.4 ｼｭ

なぜ物価上昇に伴って賃金が上がらないのか。労働現場、政策、学問のあいだを往復しながら、なぜ日本で実質賃金の停滞が続いてきたのかを問い直し、その背景にある構造を明らかにする。

『ことばのヤングケアラー』
ｱｼﾞｽﾞ・ｱﾌﾒｯﾄﾞ/ｸﾘｴｲﾂかもがわ/371.5 ｱﾌ

ことばのヤングケアラーとは外国にルーツをもち通訳を担う子どもたちのこと。彼らは学校や役所など家族の運命を左右する場面において重大な責任を背負うことに…。一人の少年の人生を通して、教育と社会のあり方を共に考える。

『柳田國男と折口信夫』
小川直之/吉川弘文館/380.1 ｵｶ

日本民俗学を開拓した柳田國男と、柳田を師と仰いだ折口信夫。信頼しつつ対立もする２人は、民間伝承の学をいかに民俗学へ展開させたのか。旅を視点に各々の学問形成を対比させ、具体像と思いに迫る。

『物語のある星座図鑑』
ペズル/三才ブックス/443.8 ﾍｽ

命を狙われた王子を救った「おひつじ座」、勇者・オリオンを倒した「さそり座」など12星座にまつわるギリシャ神話から、南半球の星座誕生の歴史まで、全88星座の物語を星空の絶景写真とともに紹介する。

『異常気象の科学』
今田由紀子/講談社/451 ｲﾏ

酷暑、豪雨、台風…。異常気象はなぜ「あたりまえ」となりつつあるのか。異常気象が発生するメカニズムから、最新のシミュレーション研究で見えてきた将来の気候予測までを、基礎から易しく解説。

『中村元の全国水族館ガイド129』
中村元/講談社/480.7 ﾅｶ

水族館プロデューサーである著者が、全国各地の水族館を豊富なカラー写真とともに紹介。展示のプロと利用者の両方の視点で、水族館それぞれの性格や展示に対する姿勢などをわかりやすく解説する。データ:2026年5月現在。

『ナマケモノは意外と早起き』
遠藤求/築地書館/481.3 ｴﾝ

脳を半分だけ眠らせて泳ぐイルカ、1日250回うたた寝する働きアリ、意外と早起きなナマケモノ…。驚きに満ちた動物たちのエピソードを通して、体内時計の仕組みとその意味をわかりやすく解説する。

『食品の保存テク』
徳江千代子[監修]/朝日新聞出版/596 ﾄｸ

200品目以上の食材を取り上げ、鮮度と栄養を保ち、賢くおいしく食べ切るための保存テクニックを紹介する。物価高&夏が長く続く今の気候に合った、新・食品保存の基本も解説。

『有元葉子魚を食べよう』
有元葉子/三笠書房/596.3 ｱﾘ

魚料理はじつは難しくない、時短のおかず。「まぐろのイタリア風」「さばとじゃがいものオーブン焼き」「干ものときゅうりのあえもの」など、何度でも作りたくなる、有元家のとっておきの魚レシピ53品を紹介。

『実家の断捨離』
やましたひでこ/大和書房/597.5 ﾔﾏ

やましたひでこが、実家という居住空間であり存在そのものをどう畳んでいくかという具体的事例と、いざ「そのとき」が来た際の対処法と心がまえを紹介する。石川・小松のリノベーションした町家も公開。

『植栽大図鑑』
山崎誠子/エクスナレッジ/629.7 ﾔﾏ

樹木にあまり知識のない人でも「理にかなった」植栽デザインができる図鑑。植栽によく用いられる中木・高木を選び、それをメインツリーとした庭のデザインの考え方や実際の配植プラン例などを掲載する。

『旅から生まれた名画』
中野京子/集英社/723 ﾅｶ

なぜ「旅」は、かくも多くの名画を生んだのか。宗教画から近代絵画、異文化交流の痕跡までをたどりながら、旅が画家にもたらした変化と、その結晶としての名画の背景をひもとく。『学芸の森』連載に加筆・修正。

『登山入門』
佐藤勇介[監修]/山と溪谷社/786.1 ｻﾄ

低山から3000m級の山まで、自分の力で自在に歩こう。山の選び方、計画の立て方など、日帰り登山からテント泊縦走までの無雪期の基本を徹底解説。コピーして使う「登山計画書」等付き。地図アプリの使い方等を加えた新版。

『プレゼント』
伊坂幸太郎/新潮社/913.68 ｲｼﾝ 文庫

伊坂幸太郎、江國香織、恩田陸、梨木香歩、町田そのこ、宮部みゆき、米澤穂信。現代を代表する7人の作家たちが「夏」をテーマに書き下ろした、驚きと切なさ、怖さと美しさ、何よりとびきりの面白さを詰め込んだ一冊。

『女じまい』
阿川佐和子/中央公論新社/914.6 ｱｶ

ブラジャーやめた、つけまやめた。認知症怖がるのもやめた。ガマンを卒業したら、歳をとるって面白い。阿川佐和子と伊藤比呂美がリアルな70代を語り合う。

『小川洋子が読みとく「アンネの日記」』
小川洋子/文藝春秋/949.3 ｵｶ 文庫

第二次世界大戦下、ユダヤ人少女アンネが隠れ家で綴った「アンネの日記」は、なぜ人々の心を摑むのか。アンネとの出会いが作家になった原点と語る著者が、その魅力に迫る。

『決裂』
堂場瞬一/河出書房新社/F ﾄｳ

親友にして同期の刑事が、拳銃を奪い逃走、射殺された。監察官の執拗な尋問、蠢く公安の影、Sの存在、そして突然の拉致監禁。誰が味方で、誰が敵なのか? 圧巻の警察小説。

『夏帆』
村上春樹/新潮社/F ﾑﾗ

「君みたいな醜い相手は初めてだよ」26歳の絵本作家・夏帆は、初対面の男にこう告げられた。怒りよりもショックよりも、ただ純粋に驚いた。それから夏帆の周りで奇妙な出来事が起こり始め…。『新潮』掲載を加筆改稿。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。
また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。
※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。

スマホ用ホームページ